

'09年2月21日ルーリン彗星観望会

by kuma

2月21日。今年最初の丹星定例観望会が開催されました。

今月の観望会は地球最接近を目前に控えたルーリン彗星の速い動きを一晩中見たいとの思いから、予めロケハンして目星を付けていた湯河原町の郊外での開催となりました。北側の小田原方面の光害がやや気にはなりますが、視界も広く何よりもそれほど寒くないのが嬉しい場所です。今回はルーリン彗星を目当てに総勢14名ものメンバーが集まる大観望会になりました。

途中真鶴道路の渋滞にハマリながらも16時過ぎに現地到着。既にハセガワさんが一番乗りをされていていました。初めての地でもあり、予め参加者向けに詳細マップを配布しておいたところ、これが随分と役に立った、とお褒めのお言葉をいただきました。夜遅くに到着したメンバーも含め全員が迷うことなく辿り着き、まずはひと安心です。

今日は遙々埼玉より Kitty ドブのオーナーでもあるハチベーさん夫婦に参加いただいたこともあり、Kitty ドブと FS102 の二本を持参。初めての二本立てで愛車に積めるか心配でしたが、セカンドシートも使い何とか全てを収める事が出来ました。

Kitty ドブの光軸を調整中のハチベーさん。
横で会長が茶々を入れているような…。



Photo ねこさん

最初に大きく西に傾いた太陽に向け、ハチベーさん持参の H α ソーラーフィルターを装填したテレビューPronto の筒先を向ける。生憎と目ぼしい現象はほとんど続認できません。リムにちょっとだけプロミネンスが見えたそうで、久しぶりの迫力ある太陽像を期待していましたが、太陽の活動期から外れているので仕方ないですね。

続けて到着のうらしまさんがC8-EXを設置中。
最近ではペンタ75EDを持ち込まれる事が多かったけど、今日はルーリン彗星目当てのセッティングかな。



Photo ねこさん

薄暮の西空に宵の明星が浮かんでいます。
結構絵になる一枚ですね。
手前のFS102が闇に埋もれています。

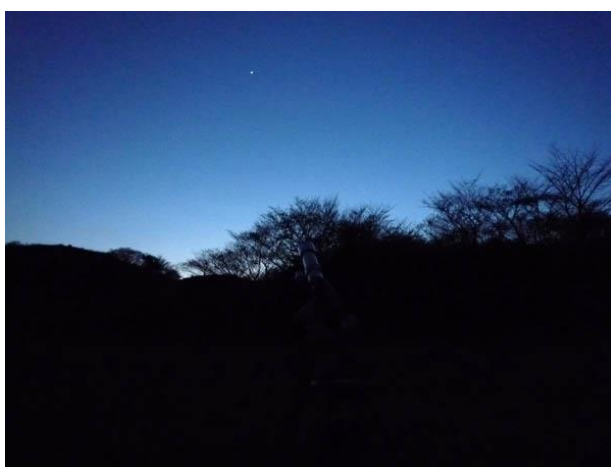


Photo ねこさん

金星をFS102で見ると、60倍程度に抑えて見ても見掛けの姿がかなり大きくなっているのが判る。視直径も40"程度にはなっているだろうか。三日月に近い見え方で、シーイングも良さもありエッジの効いたシャープな像が楽しめました。
宵の明星でここまでシャープな姿を見たのは久しぶりです。金星を視野に入れたままにしておいたところ、皆さん次々と覗きに来ていました。



photo ねこさん

今夜の主役は何と言ってもルーリン彗星。ちょうど土星のすぐ近くにあり、共に一晩中その姿を楽しむ事ができました。土星も来月に衝を控え観望の最大好機を迎えつつありますが、今年は12年ぶりに環の消失の年になるため光度もやや控え気味に感じます。



うらさまさん撮影の日没直後東空の様子。土星とルーリン彗星の位置関係がよく判りますね。画像左側(北側)の小田原方面の光害が酷いなあ。



うらさまさん撮像のルーリン彗星の拡大画像。眼視ではこの尾はほとんど確認できませんでした。ドブで拡大して見ると、コアが二つ見えており、どうやら直ぐ横に 8 等級の恒星が重なって見えていたようで、時間を空けて見ると先ほどの位置から大分離れて見え、彗星の動きの早さが実感できました。

皆で揃って彗星を見ています。光害の影響からか私の目では彗星特有の妖しい青碧色を感じ取ることは出来ませんでしたが、双眼鏡でもかなり大きな光芒が確認できました。



Photo ねこさん



Photo ねこさん

会長とハチベーさんが並んで寝転んでます。この格好だと空の広さが実感でき、ある意味観望には一番持って来いのスタイルかも。この後に悲劇が…。

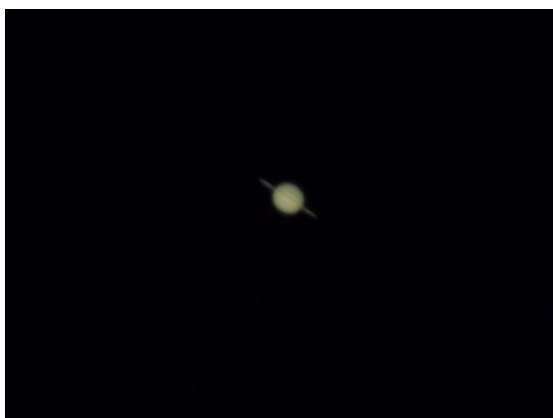
会長とうらしまさんが Kitty ドブを覗きにやってきました。

どうやら隣では土星の串刺しの姿に加えて本体の脇にも衛星が幾つか見えているようで、大口径で確認しています。

4 個くらいは余裕で見えていたかと。



Photo ねこさん



ねこさんのコンデジでコリメート撮影した土星の拡大写真。

筒は C8 かな。まさに土星が串刺し状態で、この環のシャープさからもシーイングの良さが判りますね。眼視では本体の縞もよく見えていました。

ハセガワさんの FS128。

惑星には特に威力を発揮する筒です。その実力は折り紙付きですが、生憎と覗かせていただくのを忘れてしまいました。



Photo ねこさん



Photo ねこさん

Fukuda さんのペンタックス 105SD。

確か昨年の忘年会の真っ只中、酔った勢いでケータイ片手にヤフオクで入札し、翌日見事に落札した逸品。かなり前に販売終了になった筒だと思いましたが、F9 は最近では珍しく眼視派の私には大変興味を惹かれるスペック。これで重星を見たかったけど、翌日の予定もあり早仕舞いされたので、また次回へのお預けです。

一番最後にやってきたツジさんの 45cm 自作ドブ。コリメートによる土星の動画撮影を敢行し、見事に画像に納めていました。ポンセットマウントがあるといろんな事が楽しめるわけですね。



Photo ねこさん

今回はルーリン彗星の写真を撮る方が多く、普段は観望一筋の私ですら10年ぶりの直焦にトライしましたが、まあ見事なまでに貧弱な仕上がりでした。判ってはいたけど10cm/F8のレデューサー無しではやはり厳しいものがありますね。

撮影用機材はとうの昔に全て手放してしまったのでそれも致し方なしか。



夜半前には帰り支度を始めるメンバーもいらしたので、最後に全員揃っての記念撮影の後、各々解散となりました。

Photo ねこさん

私は引き続き朝まで観望を続け春のディープスカイホッピングを楽しみました。空がやや明るい事もあり系外銀河はイマイチでしたが、好シーイングのおかげで重星はどれも一級品の眺め。大口径で見たおおぐま座ε星、うしかい座ε星、かに座ε星など、日頃分離に苦労させられる難物も大変美しい姿を見せてくれました。うさぎ座R星とオリオン座W星の炭素星同士の見比べも面白かったですね。この**赤対決**は一見の価値あります。

このまま最後まで残ったメンバー達とコーヒータイム。朝焼けを見ながら現地解散となりました。観望序盤には雲の襲来により待機モードの時間帯もありましたが、今年最初の観望会は星観をまずまず満喫した一夜でした。参加の皆さん、どうもお疲れ様でした。

ハチベーさんご夫妻も是非またお越し下さい。

了